

Doc.No : NR020510

2002年5月10日

多様化するプレートサイズに対応したサーマルCTP 「PlateRite4300」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、印刷物のデジタルデータをレーザーで刷版(プレート)に直接出力するCTP(=Computer to Plate)「PlateRite4300」を5月23日から販売します。

この装置は、1999年8月に発売したサーマルCTP「PlateRite4000」シリーズの最新機種。1時間あたり20枚(菊半寸延び版(724×615mm)、2,400dpi時)のプレートを処理できる高生産性を持たせるとともに、独自のオートバランス機構で最小324×370mmから最大830×660mmまで幅広いサイズのプレートに対応します。

印刷業界では、納期短縮が求められ、多品種・少部数に対応した機動性の高い小型から中型の印刷機の需要が拡大。それに伴い、処理できるプレートサイズの幅が広がるなど、印刷機の機能が向上しています。このたび発売する「PlateRite4300」は、このような小・中型印刷機に対して、サーマルプレートの持つアドバンテージを最大限に引き出せる理想的なCTPです。

<国内希望販売価格(消費税別)>

2,150万円(本体のみ)

<販売開始日>

2002年5月23日

<年間販売予定台数>

200台



PlateRite4300

☆この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

<特長>

1. 高速ドラム回転機構で高生産性を実現
高速回転する外面円筒方式のドラムと32チャンネルマルチ光源を搭載した露光ヘッドを採用し、優れた生産性を実現。
2. さまざまなプレートサイズに対応
独自の高精度クランプ(固定)技術によりプレートをドラムに確実に装着。クランプの位置を可変できるため、さまざまなサイズのプレートに対応。使用できるプレートサイズは最小324×370mmから最大830×660mmまで。
3. どのサイズも安全、高速に露光が可能
独自のオートバランス機構により、さまざまなサイズのプレートでも安定かつ高速に露光。プレートサイズと種類のデータを入力し、セットアップ時にデータを選択するだけで、自動的に必要な調節を行い、正確なドラムバランスを実現。
4. 内蔵パンチ機構 (選択付属品)
露光の直前に自動で高精度パンチングが可能。パンチはプレートサイズと印刷機の種類に合わせて選択でき、最大で4個までのパンチブロックを取り付けられる。また、プレートデータとしてパンチ情報を登録すれば、セットアップ時に自動切り替えが可能。

<仕様>

型式名	: PT-R4300
記録方式	: 外面円筒走査方式
光源	: レーザーダイオード 32ch
プレート	: 最大 830×660 mm、最小 324×370 mm
露光サイズ	: 最大 830×633 mm (先端クワエ15 mm、後端クワエ12 mm)
プレートタイプ	: サーマルタイプ
プレートの厚さ	: 0.15~0.3 mm
分解能	: 1,200/2,000/2,400/2,438/2,540/4,000 dpi
機械的再現性	: ±5 μm*
生産性	: 20 版/時 (菊半寸延び判、2,400 dpi)**
インターフェース	: Fast PIF
プレート供給	: セミオートローディング (標準) オートローディング、アンローディング (選択付属品)
パンチシステム	: スクリーン、ハイデルバッハ、プロトコル、コモリなど
外形寸法	: 1,750×1,030×1,178 mm
質量	: 約 645 kg
電源	: 1φ 200~240 V + 6 %、-10 % 4 kW 20 A
アース	: D種接地 (ブレーカーも必要)
使用環境	: 21~25 °C (推奨環境)、18 ~26 °C (動作環境)、湿度 40~70 % (結露なきこと)
標準付属品	: プロアユニット
選択付属品	: シングルカセットオートローダー マルチカセットオートローダー PS版搬送装置 パンチシステム 空調ユニット 先端クワエ12 mm仕様 (工場出荷時オプション)

* 1枚のプレートに連続4回露光 (温度23 °C、湿度60 %)。

** 生産性はプレートの感度によって異なる場合があります。